



向津具
最高!

向津具のすばらしさを実感しよう ～向津具の大豆とお塩とにがりで作ってみよう!～

あれは、2学期の始めに、3・4年生の国語の授業について話をしていた時のことです。「説明文の学習で、文章から想像するだけでなく、もっと子どもたちが学びたいことを広げたい。」という担任の思いから、今回の学習がスタートしました。国語の学習だけでなく、生活科や総合的な学習の時間、家庭科などの授業の重なりを整理して、たくさんの方々の力や支援をいただき、今回の「向津具のすばらしさを実感しよう～向津具の大豆とお塩とにがりで作ってみよう!～」の学習につながり、広がりました。

《大豆》10月24日(木)に、1～3年生が大豆(枝豆)の収穫、農家のお仕事(生活科と社会科)の見学をしました。その後の11月18日(月)には、とうふやみそづくりにつながる大豆の収穫をさせていただきました。ありがとうございました。

《塩とにがり》10月30日(水)に、4、5年生が、塩づくりだけでなく向津具の海のすばらしさについてのお話を聴かせていただきました。ふるさと向津具を考えたりキャリア教育や環境教育につながったりと学習が進みました。帰りに、ミネラル豊富な美味しいお塩とにがりをいただきました。子どもたちは、「これで豆腐と味噌を作ったら、美味しいこと間違いない!」と話して、感激でした!

《糀》味噌を作るのに、糀の手配を悩んでいたのですが、長門農林事務所さんの食育の事業を利用させていただき、向津具産の手造りの生糀を手配していただきました。その糀は、ほんのり甘く優しい味でした。大豆に混ぜる直前、大人で塩と合わせた塩糀も味わっていましたが、これも本当に美味しかったです。

《とうふとみそづくり》11月20日(水)に実施しました。みそは、熟成まで時間がかかりますが、出来立てのとうふのあまりのおいしさに歓声が上がりました。全ての皆様に感謝です!ありがとうございました。



どこにいますでしょう?
ケースを開けると、水苔のおうちからひよいと顔をのぞかせます。

向津具小のヤマサン物語⑭

11月になって、ヤマサンの棲み処を、小さな容器から水槽に移動しました。10月号で、「気候も安定してきたので、あとはよく食べて大きくなるだけです。」と言っていたとおり、元気にパクパク食べてくれます。最近では、勢いあまってピンセットごとエサに喰いつくこともあります。また、お腹が減りすぎたのか、エサを食べる時に、棲み処の水苔も一緒に喰いついて食べてしまうこともあります。あんなに心配していた食欲のなさが、今ではうそみたいです。大きくなあれ!

嬉しいニュース!油谷島の方からヤマサン情報が寄せられました。例年の春に確認に行ってきたと思います。楽しみ!